立教大學新聞
創刊大正13年
立教大學新聞
発行部 豊島区池袋三丁目
立教大学新聞学会
振替口座東京一八〇七五番
編集兼印刷人 博士 藤原鎮男
発行人

學校長の權限强化

學生政治活動を制限

學校教育法施行規則を改正

しばしば報じられたとおり学生運動にたいしては学生自治会への団體等規正令の適用、教育樣側、学内内規の制定など種々の制限が行われてきたが、從來学校長が学生徒を処分に付することができる場合は、学校教育法施行規則第十三條に基いて

一、性行不良で改善の見込みがないもの

二、学力劣等で成績改良の見込みがないもの

三、正当の理由なく出欠常でないもの

の第三項目だけに限られていたが、なにしろこのわくの中で学生政治活動を処分するにはいろいろ面倒な問題をおこし、その判断も不明確ならざるを得ず、新たに「学校の秩序を乱しその他学生としての本分に反したもの」の一項目が加えられたのである。これに基いて学校当局は学生運動にたいしての次官通牒、文部大臣聲明などその他一連の文教政策を参考にして各学独独自の立場で処分が可能になった。これについて小川学生部長は十日つぎのように語った

小川学生部長談

政治活動といってもそのデイフェニツシヨンは、はっきりしないしまた文部省から何ら通達を受けていないのでよくわからないが、当校としては別段今までの所問題も起らなかったし、ことさらに改めて取上げる必要がないと思う。しかしもし將來問題となるような事態が発生したならば私個人としては処断などということなく寛大と慈しみをもって善導してゆきたい、また学校側としてもこの方針であると思う

學問・思想は自由

進歩的教授問題も

既報進歩的教授の問題においても過半來のイールズ聲明の線、人事院規則等によって各大学においてしきりと辞表の提出を強要されているが、本学においても何等かの問題があるのではないかと学生間にうわさもあるが、河西総長代理は学生も含めてこの問題についてつぎの如く語っている

河西総長代理談

学校では今のところ進歩的教授に関して別に問題は起きてないし今後も退放しようというような意志は全然ない

立教ではあくまで学問、思想の研究は自由であるとの見地から明かに政治活動であるとみなされるべき行為をしない限り問題は起らない

なお学生においても、学内における政治活動禁止については論議の餘地なしとのことである。これら問題に関連して学校当局は若し学内問題にいさかでも不審な点があれば、それぞれの責任者に進んで質問をするよう希望している

本学より資料提出 キリスト教文化展

去る六日から十五日に渡り日本橋高島屋において催日新聞社とキリスト教教育同盟共同主催の下にプロテスタント渡來九十週年記念キリスト教文化展が行はれた、本学よりは、ウイリヤムス聞関係の諸資料及び創立当初の校舎写真や本学史学研究会が提出した

復興資金キャンペイン

アメリカのミツシヨンと特に関係の深い青山学三教会では戦災を受けた教会を戦前の状態に回復したいという米國信者ならびに進駐軍将兵および家族の熱望により復興資金キャンペインとして宝くじを賣ることになり会長にはマッカーサー夫人を推聞、宝くじの景品として時價三千ドルの四九年型シボレー自動車を三萬本一二千八十萬円賣出され、一本一ドル(三百六十円)である。引続き神宮球場で行われるシールズ軍と巨人軍との試合にアイスクリームを賣ることになり賣上利益金を教会復興費に当てる、尊子は立教生百名を採用する筈

文部省 科學研究費

本學諸教授に交付さる

今度文部省から昭和二十四年度文部省倉第三十二号「科学研究費交付金取扱規程」と「科学研究費交付金経理要項」により科学研究費が交付されることになつた、本学では左の教授達が該当する、研究課題および研究担当者は左の通り

アメリカ哲學の系譜、沢井正治▲労働者の社会的地位に関する研究、淡路円次郎▲平安朝時代の日本人の音楽美意識の研究、辻荘一▲倉敷高砂旅館の民族学的研究、宮本馨太郎▲労働意欲の社会心理学的構造(特に労働環境との連関において)岸百護▲絵巻物に現れたる常民文化の研究、桂西光速▲戦後の諸國際金融における英國の地位の変動、松田智雄▲アメリカにおける政党政治と圧力政治との関係の研究、藤原守胤▲労働組合運動における刑法犯の実態調査、関倉武夫▲民主政治と地方財政、藤田武夫▲一、日本新生代珪藻類の研究、二、日本古世代及び中世代に産する藻類化石の研究、石島渉▲原子核の物性論的研究、渡辺慧▲X線顕微鏡による物質構造の研究、杉浦義勝▲放射線による黴菌発生メカニズムに関する研究、村地孝一、太田一郎▲放射線の生物学的作用の研究、村地孝一

後任野球部長

中川教授か

久保田野球部長死去による後任部長問題については学校、先輩の間で種々討議されているが、現體育部長中川教授が最も有力視されている、しかし総長渡米不在のため最後的決定は、帰國の上決定されるもようである

写真部読賣賞獲得

毎年定例の東京大学々生写真展は、既報の通り九月廿七日から十月二日まで総計四二二点が出品、銀座三越で開催された会期中は慶学祭・写真展、その他から多数の観覧があり盛況であった

今年は会場に読賣賞が十点及び特選、その中本学では目黒計一井水道夫、渡辺信夫、野中和朗の四氏が獲得した、なお当部では文化週間に慶應写真会を結成し得した

新聲

休学中の授業料

私は現在学中の学生であるが、休学する際事務当局のいうには、休学中も学生会費を徴き授業料を徴集するというのである。また他の人に聞くと、本校にかかる規約があるとのことである。

これは如何なる根據があつて休学中のものから授業料をとるのであろうか。いくらインフレの時代とはいえ、授業も受けぬのに、八千円もの授業料を納めるのは、相当手痛い。その上休学するものは何等かの不幸一病気、家庭の経済的事情等その他色々あらうがあるからこそ休学するのである。それ故休学する者にとつては二重の重荷である。

学食において発表すると共に、部員の写真展を開く豫定である

白石君第一位

立教社交舞踏研究会、では去る十月四日開催された東日本学生社交競技会に白石泰太郎君(新三)が出場、クイックステップに第一位、タンゴに第二位を獲

文化祭ダンス講習会

文化祭の一つの行事として社交部主催のダンス講習会が祭中通しで行なはれる、講習者は一日五十名なお教師は本学社交部員が当る

こういった規約も物價安の時代には授業料も安くさしたることもなく通用したかもしれない。しかし、現在は一般勤労者の家庭にとっては非常につらい。学校当局も経済的に困っていようから、金額を免除せよとはいはない。とにかく休学中に授業料を徴集するというこの規約を速やかに改正せられんことを学校当局に望むものである。(二休学生)

生産會社は激減

就職難いよいよ深刻化

来月の三月に学園を巣立つ旧三の学生諸君は九月の新学期に入ると共に、早くも多難な就職戦線に遭遇し、学校の人事課、あるいは個人的に先輩知人を尋ねて活発な就職運動を展開、東奔西走しているが従来のそれとは根本的に性格を異にしているといはれ、学生の最も熱望している基幹産業、金融方面等の大会社に先輩諸兄の活躍は比較的少なく、戦後形式的に学閥は解消したとはいえ実質的には依然として各方面の大会社にみられ他校に比して相当の苦戦が豫想されている、現在学校の人事課に來ている求人会社は日銀、興銀、千代田銀行、大阪銀行、第一生命等の金融関係に多く、生産会社の中にも中堅幹部養成の目的で大日本紡績、島津、鐘淵、國策パルプ、旭川電化等の会社から求人が來ているが、平均して百人に一人の採用である

学生側の希望している会社は経済学部は貿易関係の商事会社と大生産会社が圧倒的に多いが、衆知の通り貿易の不振と生産品の需要のため頭打ち、文学部の学生は教員、出版会社を求めているが、インテリの充満している東京近辺の教員はほとんどなく、主として地方行きであるが帰りたがらない、出版会社は全然だめ、おもに私的関係を頼り、社会科では最初の卒業生を送り出すので淡路教授が各方面に懸命の努力を拂っているが、一般に英語、タイプ、珠算等実務的特殊技能の持主は何処会社でも大いに歓迎され、思想方面は特に厳しく、左翼系統の学生は呼吸器に異常のある学生とともに問題外とされている

人事課や学生でひそひそと噂を聞いている旧三の人達をつかまえて就職事情を聞いてみると他人事でない

S君(経済学部)まともな所がなければ外交員でよ

C君(経済学部)欲はいいませんがやはり新興会社や小会社は避けたいですね、これ位のわがままも許してもらへない今の会社とは別っていますが

T君(文学部)僕はタイプが出来るので、その方面をねらっているのですがサラリは賣べるのがやっとらしいですよ

佐々木總長に神學博士號

渡米中の佐々木総長はこの度オハイオ州のケニオン大学から、新聞書の研究により神学博士の学位を贈呈されることになつたケニオン大学は元総長ライフシュナイダー氏、元田初代学長の出身校であり、立教がケニオン系統といわれほど特に関係の深い学校で、ケニオン大学創立百廿五年記念祭に行われ、当日総長はミツション・スクールと日本の文化と題して記念講演を行う

新委員長に遠藤君

級委員會再發足す

新規約成立に伴う新委員の出選が十月一日のクラス委員会総会において行はれた

選挙に先だち委任状が修りにも多いことと(出席人員二十餘名委任状五十餘名)一人で二十数名もの委任状をもっていることなどから金議は紛糾し、"不合理である"、"民主的でない"規約では委任状が厳として認められている"、"一人で十数名から委任されるなどは疑はしいなどさまざまの発言があり、果ては"流会"の寸前まで飛ぶに至つた、しかし規約はあくまでも従うべきものであり、不備な点は後日訂正するなり細則を設けることにして選挙は立候補、推せんを併用し議長には信太正行君(旧二社会)が五十五票で当選、委員長には鷲尾義博君(旧二経済)が次点の手塚俊夫君(旧二経済)をわずか一票引きはなし十九票で当選、副委員長には西山千秋君(旧三経済)と今宮良治君(旧三社会)がそれぞれ当選した、なお委員長の選挙で白票が三十二票もあつた、更に常任委員の互選により、企画部長には根本悟雄君(旧二経済)会計部長には櫻井芳郎君(旧二社会)庶務部長には中村誠一君(新二経済)指導部長には松田浩一君(新三経済)がそれぞれ選出された

級委員會 新規約成る

学生会規約の下に、クラス委員会の組織確立のため去る六月に起草委員の選出、逐次審議中であつたが夏期休暇のため一時停滞し九月二十七日に至ようやくクラス委員会総会において可決成立をみた

この規約によれば決議機関としてのクラス委員会総会の下に執行機関たる常任委員会が新たに設けられ、代表たる委員長の他に議事運営の任に当る議長も置くことになつた、なお従來の不備なる点は改正されるもようである

會報を編さん 文化祭で

創立七十五周年を機会に文化会では年刊の会報を編さんすることになつた、会報の内容は各部とすることになつている

連敗の因をつく

石山先輩語る

たことは大きなプラスだつたと思う、陸戦で勝負があるようだが、それは単なるうはさにすぎない、リーグ開幕前、練習を負だけ行つたが、技術的な面、殊にバッティングは案外らしいと思つて見た、連続二回リーディングヒッターを出す程で、他校と較べて決して遜色ない、藤田、山崎、五井などプロに入れてもすぐに使える技能を持っている、こういった選手がいながら何故こんなに敗けるのだろうか、一番の欠点は選手が自己の特徴を識していない点にあると思う、例へば早大との決勝戦の時など山崎、五井の強打者連が、未吉が度々投げるスローボールを打たずに、ウエイティング策戦に出たため却つて牛耳られて了つたのだ五井、山崎級の選手だったら、もつと積極戦法に出るべきで、あの場合強引なバッティングに出れば未吉を打崩すのも容易であつたろう、未吉にしても、スローボールを打たれ、ば眞向から立向つて来たろうし、そうなれば立教にとつては思うつぼだつた。一體うちの選手は氣力に乏しいのではないだろうか、早大がよく見せる連続ヒットは立教には見られない、彼奴が打つならおれも打つといった氣がまえが欲しいものだ

常に自己判断によつて機敏に動かねばならないのが野球の金言であるのに、一々ベンチの指示を受けて自己の特徴を殺してしまつている

練習の時には身につけていた野球の常識をいざ試合になるとまるで忘れてしまつているようで、つまらない点が見えている

六大學リーグ中間報告

六大学リーグ戦開幕前、ダークホースとして呼聲の高かつた本学が開幕以來不振を極め、明治、法政、早大と連敗を重ねて、義気を裏切つた形となつているが一般この原因は何処にあるのか、某日ネット裏で佳年の名投手石山氏(旧陸軍出)を訪ねてその因をたいた

野球部が全職制から除籍制をとり

ネツト裏 あの聲・この聲

○…山村君(慶應一塁手)五井君はあまり真正面に打者に向つてくるんじゃないですか、だけど、あたり出した立教の打線は恐しいですね、それにチーム全體に元氣が足りないような気がする…

○…松本記者(東京タイムズ運動部)

豫想記事で立教の勝利を書くと試合で必ず敗ける、今、勝たせたい気持ちで一杯なんだが…

○…立教ファンの女学生…立教の選手は上品で大好きなんですけど、でも敗け続けなんですもの、手に汗して應援してるのに、頑張つてもらいたい思います

○…上左京記者…今度は結局、運がないんだね初戦に関根君に牛耳られたのが決定的に影響している、しかし、よく学生諸君は試合の運びが拙いというが、試合を結論的にいうのはよくないよはてさて、立教は何位になれることやら…

立高野球東京豫選に二位

高等学校関東大会東京都豫選に出場の立高野球部は去る十日、明大球場に慶應高と決勝に対戦し四対三をもつて惜敗、第二位を獲得した、初戦から大差をもつて勝ち進みながら、一点差に敗れたのは惜しまれる、バッテリーは伊藤、宮本だった

なお、廿廿四年度國民體育大会には出場の豫定である

中学、小学校で運動会

立教中学校、小学校では学院運動会に先きだつて去る十四日、それぞれ校庭に運動会を行つたこの日、好天に恵まれ、若さに溢れるユーモラスな光景を勝所に見せて、この日許りは先生も生徒も豪然一體、楽しい秋の一日を送つた、中学では「三醜事件」「風と共に去りぬ」など変つた競技が見られみれらの競技の中から実行委員会で優秀競技を検討、学院運動会に再演する

立教學院就業規則決る

教職員就業規則について先般来学校側と教職員側で三度の会合を重ね去る十月一日(土)労働基準法により従來の欠陥に部分的修正を加えて條文化した、なおそれと併行して慶給規則が大巾に改正された

秋期臨時休校

運動会終了後十月三十一日(土)から十一月五日(水)まで秋期休暇となる

波紋

▼昔々、といつても廿世紀のころ大洋の東に一人の巨人がおりました、巨人は偉大な宝を持つていたのです、それは殺人鎗というもので、何十萬人もの人々を殺すことのできる恐ろしい力を持つています、だから巨人は一人寂んでした

▼ところが西の方にまた異なる巨人が現われました、その巨人も同じく殺人鎗という宝を持つていたのです、さあ大変、両巨人の間にいる弱い人達は本当に不安になりました、それは二巨人がけんかを始めると弱い人達までがその側ずえをくつてせい惨な戦場となるかも知れないからです、しかも案の定巨人達はおたがひに口論を始めたのです

▼さてこの二巨人にはさまれた弱い小さな島國でも身分のある人は小田原評議の末東の巨人につくべきだと断定しました、またある人々は西の巨人についてがん張りました、でもか弱い小人であることを忘れた対立は本当にナンセンスです

▼善良な人達は議論などせず、ただ二巨人がけんかをしないように祈つていましたそれで先にけんかをしかけたり相手を憎くいつたりする巨人こそ悪いのだと信じていました、星鍋なる考えを持つていればこそ本当の平和愛好者であり民主主義者だつたのです、これら善良な人達は立派な人やそれに反対する人達は忘れていた言葉をつぶやきました「巨人の力を得るは言むべし然れども巨人の如くにこれを用うるは圧制と謂はざるべからず」(シエクスピア)

告報間中リーグ六大學

文化祭プログラム

十月十八日(水)
一時講演、北森春驤YMCA、二時校内弁論大会、弁論部、二—四時講演、岸百護、心理学研究会
十九日(水)
一時半講演、熊野義隆YMCA
○時半記念講演会、英米文学会
三時半レコード、佛文学会
廿日(木)
一時英語弁論大会、岩村三千夫英語会、二時講演、守屋典長経済学会、三時レコード社荘一「醜術研究会、一時講演、武部英治ホテル研究会
廿一日(金)
一時オルガンリサイタル、村岡梅子YMCA、二時公開討論会新聞学会、三時講演会、羽仁五郎他社研、五時劇、劇研
廿二日(土)
一時講演、双葉十三郎映研、二時鈴蘭祭、文化会、六時ダンスパーティ

廿五年度入学
兒童募集
人員 男兒 八十名
願書受付11月1日——12月20日
立教小學校

立教學院就業規則
改造 十一月 特大號 特價六〇円
対日講和は可能か
戰爭か平和か
原子力爆彈と世界平和
ラッセル
ポンド・ドル・円
田宮虎彦
正宗白鳥

證券に對する關心は……近代人の教養です
日興證券
(營業所)本店 東京都中央区日本橋堀町一
支營業所 丸の内・丸善・新橋・伊勢丹・丸ビル・池袋・上野・秋葉原
(主要都市)
(呈贈資料参)

改訂增補 日本動物圖鑑
延20万人の總力を凝集し、日本及内外諸地域の動物群5300種を網羅せる全世界空前の圖説書!
本書の概貌
1. 口絵(原色版) 12枚6色刷
2. 本文(オフセット) 原生動物より哺乳類に至る4865種の図説
3. 附録(オフセット) 外國産動物222種の図説
4. 解説(活版) 動物学の基礎問題に関する解説
5. 索引(活版) 和文及欧文索引に科名一覧表を附す
1. 用紙(口絵)アート紙 (本文)印刷23号
2. 製本(表紙)厚肉ボール
紙使用・木綿クロース・金箔貼ボール箱入 他に郵送用外箱を附す
内田清之助他54氏共著
A5判三千三百頁 定価三千五百円
(書留送料本社負担)
内容見本進呈
毎日出版文化賞受賞
本書御注文の方法は
即刻御近所の本屋さんに注文なさるのが一番良い方法です!
近くに本屋が無い方は、本社へ直接御注文下さい その場合小為替が大変便利で早く着きます
宛先は東京七〇番 北隆館

改訂增補 日本動物圖鑑
牧野日本植物圖鑑 A5判 定価一二八〇円
牧野富太郎著 植物の牧野か、牧野の植物か、博士の博士畢生の大植物図説書である、本書こそ有名であり最も有名な
学生版 牧野日本植物圖鑑 コンサイス型 定価四五〇円
学生版 日本動物圖鑑 コンサイス型 定価四五〇円
学生版 日本昆虫圖鑑 コンサイス型 定価四五〇円
内田清之助他71氏共著 農学博士 理学博士 正確な記述と豊富な図版はさながら紙上の昆虫博物館を現出!本邦産昆虫の殆んど全部を網羅した学生採集の必携
江崎悌三他25氏共著 理学博士 昆虫の種は殆んど網羅した学生採集の必携
近刊 鑛物圖鑑 資源植物辭典 理科辭典 日本昆虫圖鑑
政治学入門 佐木秋夫編 B6判284頁 定価200円 〒35
キリスト教と革命 久留間鮫造著 B6判305頁 定価250円 〒35
マルクス研究 鈴木安藏著 B6判308頁 定価250円 〒35
北隆館 東京都中央区日本橋三丁目 振替口座東京七〇五番

「税」の見方

一

―"シャウプ勧告"に関連して―

藤田武夫

新聞の見出しまで出てわれわれの注視をあびたシャウプ税制使節団の勧告を見て、われわれは「税の問題が今まで」と通った大きな意味をもつていることを知つた。それは「税」が単に国庫に多額の収入をもたらすとか、あるいは国民の担税負担を公平にするとかいうありきたりの問題以上に日本の経済の今後の在り方と緊密に結びついているということである。もつと詳しくいえば、昨年末経済九原則によつて根本方針を示され、その後ドッヂ公使によつて一層具体的に厳密に規定された日本経済の安定と自立を推し進める上において「税」が大きな役割を演ずるように今回の勧告の構想がたてられているのである。

「強制徴収経済」と一般にいわれているように、もともと政治的性格の強い「税」が、こういう政策的役割を担わせられることは、今更驚くにもあたらないかも知れない。しかし、今度ほど「税」のもつこういう役割がハッキリと現れたことは、いまだわれわれの経験しなかつたところである。このことを裏返していえば、今日われわれは、「税」の問題をそれだけ切り離して問題にすることはできないのであつて「税」の在り方を規定するのは、その國のおかれた経済的な政治的な状態でありこれらの状態とともに「税」の問題を考えねばならないということである。

二

どれだけ減税できるかということが、現在一番大きな税制問題であり、重い税にあえぐ人々は今回のシャウプ勧告についてもこの点を最も問題にしたのである。しかるに、公債の発行を許されない日本の財政においては、税を減らそうとすれば必らず殖税をそれだけ削減せねばならない。そして殖税を減ずることになれば、費目のうちで一番大きな費目である價格調整費に手をつけることが必要になり、ドッジ公使もまたこの調整費をできるだけ早く無くしてしまうことを要請している。従つて、政府でも、来年度において二千億円の減税を実現するために、この價格調整費を約千二百億円削減する案をたてている。ところがこゝに妙な結果が生ずる。價格調整費というのは公定價格を維持するために各生産者に交付される補給金であるが、この調整費が削られれば、それだけ補給金が減るわけであり、それに伴つて主食えの他の公定價格が当然に引上げられるのである。そしてこれはそれだけ人々の生計費を増大せしめることになる。現に経済安定本部の調査によると、シャウプ勧告による減税が、生計費を減少せしめるよりも、補給金の削減による公定價格の引上げによつて生計費が増大する方が大きく、人々の生活は、知つて苦しくなる。簡単にいえば、人々の生活を楽にしようという減税が、その減税のための経費の節減によつて公定價格が引上げられて、むしろ生活を圧迫するという妙な結果になるのである。

右の事実によつてわれわれの知りうることは「税」そのものの増減だけを問題にしてもそれがわれわれの生活におよぼす影響を正確にとらえることはできないということである。「税」を減ずるために歳算面においてどういう操作が行われるか、そしてその操作が、反面においてわれわれの生活にどんな影響を與えるかということを忘れてはならない。いいかえれば「税」の問題を考える場合には財政全般を同時に問題にせねばならないのである。

三

すてに多くの論者によつて指摘されてきたように、シャウプ勧告は、総額においてそれほど大きな減税を行わず、勤労所得者については、他にくらべて軽減されるところが少く、われわれの耐乏生活は、この面からもつすくようである。日本経済の安定、自立のためには、國民の耐乏も必要であろう。しかし、乏しい生活のうちから國民が、重い税を納めていくのであるから、当然にこの「税」の使い方に対する國民の批判は厳しくならざるをえない。今後は農民が充分納得するように「税」が使われねばならない。

「税」と國民生活の関係を判断するためには「税」の使い方即ち「経費」の問題を無視することは許されないのである。

(筆者本学教授)

林檎と額縁

記録文學について……

杉木喬

「戦争前のこと、某高等学校卒業祭に行つたことがある。資産のような雰囲気の熱気とうぬぼれとがなしさをたゝえた数々の催し物のなかで、ぼくの記憶に今もなお残つているものがある。それは「離物」と題のつけられた一幅の立派な額ぶちで、近くに寄つて見ると額ぶちには画は入つてなく、器に盛られた林檎がえんの向うに見えているばかりである。こちらの眼の位置によつて、それは立派な林檎の画のように見える――こんな思いつきはさん新奇扱かどうかは知らないが、この一両年淺草あたりの軽演劇でも、「泰西名画」とか何とか銘うつて大きな額ぶちの向ふに裸女を配して人氣を集めたという。この場合、絵画も演劇も一つの思いつきによつて、主客顛倒しているが、人々はそんな事は問題にしない。つまり藝術としてそれを鑑賞しているのではないからである。

記録文学について何か書けと依頼されてぼくはふと以上のようなことを思いうかべた。記録文学もそんなものになるおそれがあるからである。元来ぼくには記録文学という概念がすでに予盾しているように思う。記録に必要なのは正確、精密等の要素で、これはむしろ人間の知的要求に基づく。けれども文学の主要要素は言葉の高い意味での虚構で、人間の情緒的な欲願であるかに美しくとも実在の林檎は所せん林檎にすぎなく、それ以上でも以下でもない。しかし画家の描く林檎は、いかにゆがんでいても汚い色彩でも、これはすでに単なる林檎ではない。画家という人間の生みの苦しみを通しての現実の再現である。

従来記録文学といわれてきたものには、単なるルポルタージュと、記録的要素の多い小説とがあるが、実際には混同されていたようで、むしろその混血児といつたものが多いらしい。大部分は戦争物で、引揚物、浮浪物等がこれについでいるが、多くは素材が中心で結局ノン・フイクションでありながら、そこに作者の多少の抒情や過去への批判を加える。だから読物的傾向が出て来るわけで、大衆・娯楽・読物・時局等の雑誌を賑わす所以である。

これらの読者層がなぜ記録文学を歓迎するか、それは大きな問題を含んでいる。過去の眞実を知り尽なかつたものの、いわば卒直を満たそうと考える知的な要求が、覚醒すると共ににわかに、これは現実の再評價への準備として好ましくないわけではない。ひとぼ又そこから自嘆、自慰を引き出し、政治への不信をそれなどころに生じるかもしれない。次に読者は過去へのノスタルジアを感じるにちがいない。しかしそれが警撲な感情に終る限り問題はないが、とりわけ戦争物などの場合、ある作戦の失敗を読みつゝ、「もしもあの時……」という感じを抱くなら、そこには戦争への関心がかなり危険な形で頭をもたげて来るかも知れない。今日戦犯物が盛く受けるというこの心理的社会的背景には、そのような平和に逆行する要素もあることは注意すべきであろう。

最近ぼくはある文学雑誌で「火牌」という新人の小説を読んだ。必ずしも記録文学といわなくてもいいかも知れないが、大学中退の青年が兵にとられて死ぬまでの記録である。よくもこれほどまでに人間が虐められるものと思われる位いである。死骸が眼鼻を放ち蛆や蛆に見舞われ最後に焼かれるまで無残に描かれ、いささかの感傷もない「最初もうそうたる墓標が暫空の一面をおおつて立ち昇つたがやがてまもなくすると、それは勢いのいい火えんと変じてぱりぱりという音を立て始めた」

このような一節で終るこの作品は決して読者の心を素ぼくな愉しさで充たさないばかりか戦争に対する限りない憎悪さへ感じさせる。およそ作家が作品の中で人間を虐げれば虐げるだけそれだけそのようなものに対する憎悪を強めるという事は一見パラドックスでありながらやはり眞実である。非論理的なものが論理的に統一される。この作品はそういつたものであつた

中間読物的な「ゆわゆる記録文学」は別として、記録文学は正確な事実を尊重すると同時に、戦争の人間性否定と神に対する冒瀆を再認識するために全國民必見の映画であろう。以前に封切られた戦争否定の映画「大いなる幻影」「海の牙」等より以上にリアリティに富み身に迫るものを覚える、アメリカにおいて一年間も続映され名國により、五つの映画賞が授與された栄誉に決して恥じるものではない

技術的にみて、平凡な中に迫身力を持つた撮映は絶さんに値する

ロベルト・ロッセリイニ監督のセミ・ドキュメンタリー映画、出演者は米國の新人と他の二、三名の俳優を除いてはイタリア各地の市民および米英独兵である

(写真はその一場面)

―映画紹介―

忘れじの巴里

妻と性格の合わない一将校が、軍の命令でパリに渡たり、新進女優と知り合い子供までもうける、彼が兵役除隊になり、愛する女優を探し求めてパリをさまよう中、妻にあうが何の魅力も感ぜず、パレーを勝る愛人を発見して再び相抱く、妻は激こうして彼女を追放してしまう、彼が再び劇場を訪れた時捕り扱いた彼女は力つきて彼の胸に抱かれながら子供の将来を託して死んでゆく……戦争を主題にし、出征軍人をめぐる二人の女性を描いている、英・プリテッシュ・ナショナル映画、原作ミッチエル・モートン、監督マクリーン・ロジヤース、主演はダグラス・モンゴメリ、ジョイス・ワーハド

野良犬

この映画は数多くの人間像を強烈に描出した革新的探偵映画で製作者は映画藝術協会・木木荘二郎である、黒沢明が現実的題材を取り上げ、氷い闇戦争に行つて、闇が簡単に歓になるのをみて来た青年刑事が世の中に悪人はいない悪い環境があるだけだと人的同情を求むるが、同事件を担当する一老刑事が、一匹の狼のために傷つく多数の羊を忘れてはいけない、単純に悪い奴は悪いんだと戒しめるこの二つの人間性に思い切りぶつかつた異色ある問題作、脚本は菊島隆三と黒沢明自らの共同執筆。配役は三船敏郎、志村喬、千石規子、SKD新人淡路恵子をはじめ俳優座の演技陣である

(映画評)

たなかの火戦

秋ふかむ

KRITIK

○吉「大学を出たけれど」などの文句が世人の口の端に上り平和なころほい、ある大会社の試験官「何? 早稲田の政経ですか、それじやね、ちと」とか「経済学は何教授でしたか」「はゝんあの先生ですか」「然はいやな断り顔

○平和も四年目となればまたのんびり、この一昨前と同じ就職事件がまたぼつぼつ「何自治会の委員だな」「何大学新聞に関係していたつて?」「何社会科学の研究が好きだつて」何々会社の人事課長がつぶやいたとかつぶやかないとか

○いやそれ所かこの新卒業生を長い間教養して呉れた学校当事者あつせんを断つたとか断らないとか、とてもの温情(?)

○またちまたでは赤い引揚者の就職難、どこもかしこも同じ問題

○某若旦くに「就職の秘密はスポーツの選手か、裏門も表門もの二面作戦さ」と、某社会主義政党の書記長談と接を一にする言葉あり

○かくの如く失業新人生活大量に産成されていると思えば、東京新聞(六日号)は暴力の街「新宿」を点描して管区警察署長に市民の非協力を嘆かせ警察力不足を訴えている

「不ていの輩」の組織と派閥はどれだけの警察力が動員されたの事か

○団体等規正令、人事員規制皆必要なものばかりだ、教授も学生も役人も政治活動なんかしたくない、何故つて夫々の職分本分に心身を傾倒出来る世の中ならば何もムダな時間をつぶしたくはない、学生は時々より良い眞理の探求の場を、より近代的教養を身につけられる時を欲しているに過ぎないから

○でもそうでないなら、このものを得ようと国鹿は死なぬきやならない例へ、上記の何処でも就職を断われる運中は"情は人のためならず"のいやな運動もしよう、何はさて置き駄つていたんちや多勢の人々まで、今に手も足も出なくなる、就職戦線の投げかけの功名、生存競争これも結構だから要領のよい世の人々よ、共倒れにもなり兼ねまじき現実なかめ且つは打破したいものではある(K・S)

秋のハイキング

秋のハイキ　秋の楽しいハイキングコース　一日を友達とあるいは恋人と逸るのに相應しいハイキングコースを選んで紹介する

谷伏山から荒川へ

池袋から東上線寄居駅行で一時間四十分、小川町駅からバスで三十分終点に着く、と本木峠の澄りにから清流にかけられた丸木橋を渡り奥武蔵比企陵の見晴しのよい峠に出る、途中の星鈴峠は日本武尊が腰に鈴をつけて歩いた後に東尊がさいたという可れんな伝説のある山で谷伏神社は尊をまつつてある、四時間丁度のコースで帰りは東上線寄井駅で乗車するがこゝまで来れば東京近郊随一の山水美といわれる長瀞の紅葉を探勝するのもよい(日本交通公社呈供)

新☆刊☆紹☆介

ハイマン著

共産主義、ファッシズム民主主義

土屋清・土屋弘訳

社会的勢力の伸の場では実践はより理論的でなければ、徒らなる公式主義に陥るであろう、この要望を十分に充して呉れるのがナチに追はれたドイツの社会政策学者で社会民主主義者である著者の労作であるが眞に三つの立場を示すのが本書である A五三〇四頁、三二〇円、(社会思想研究会出版部)

澁沢克己著

平和は何処から来るか

平和に関して原則的に史的唯物論に反対する何ものもないが、それが見出したものに人間の係件がついているか何うか、人間が歴史的世界の主である所以は神の業であり平和は永遠に創造的な神からのみ来ると眞摯なキリスト教者である、B6二五〇頁、一三〇円(教元社)

富士カラーフイルム
富士寫眞フイルム株式會社

スポーツには帝都のゴムボール
軟式陸球ボール リーグ
ATM アトミック
軟式陸球ボール アトミック
帝都ゴム製造株式会社
東京都豊島区巣鴨6の1368
電話大塚(86)1156―8番

十月新発売レコード!
ハワイアンギター
マイ・タニー
ココナッツブギ
唄 寺部震 作曲 寺部頼幸
ポリドール専属ハワイアンバンド
寺部頼幸とポリドールココナッツアイランダース
ポリドールレコード

東京海上火災
世界的名誉のある
本社 大田区蒲田大森駅前 東海ビル
(電大森二五〇―九)
東京営業部 千代田区丸ノ内三菱仲大号別館
(電丸ノ内四三〇―九)
支店 全國主要都市

會告

本年度文化祭に際し、本学会では各部会参加による「公開討論会」を左記により行います

各位振つて御参加下さる事をお願い申上げます

日時　十月廿一日(金)二時から四時まで

場所　廿四番教室

講師　民自・佐藤　栄作
民主・中曾根康弘
社会・渡沼稲次郎
共産・神山茂夫

新聞学会

教務院移轉す

聖公会教務院は文京区湯島切通一にある神学院の校内の整備が完了したので、十月初旬同所に移轉した

秋の大学高専服は
落着いたスマートな
テイラー松井
池袋西口マーケット入口

立教大學御指定
恩田洋服店
(池袋トキワ通)
大野洋服店
(池袋西口スト内)

此のマークの当店に!
秋の学生服は
丸和洋服店
(大学通用門前)

大學高専服特約店
イシバシ洋服店
(池袋立教通り)
飯田洋服店
(池袋バス通り)

秋の大学高専服は
評判のよい
小林洋服店
毎日校内出張

御菓子司
梅屋
池袋西口バス通り
電話大塚(86)2558

立教大学御用
任田帽子店
池袋立教通り

新刊・書籍・雑誌
教科書・参考書各種
注文品は迅速にお取りよせ致します
冨士書店
池袋西口

各種時計特約
干野時計店
池袋西口

高級カメラの店
川原寫眞機店
池袋西口

カメラと技術
パール堂
池袋西口千代田銀行前

学生諸君に贈る
創立七十五週年文化祭
ダンス・パーティー
場所(新館)フロリダ
日時 二十三日 十二時より五時まで
主催・立教学生舞踏研究会
PRICE ¥150

18日―24日
R.K.O映画
The Pearl
眞珠
25日―31日
コロンビヤ映画
Gilda
ギルダ
主演 リタ・イヘワース
新宿文化

日新化学 醫藥品の話
「医は仁術」と言はれた昔から医術は天に代つて貴重な人命の天寿を全うせしめる手段でありその故にこそ医薬の製造は最も良心的でなければなりません。
それには優秀な技術と最新の工場設備と精選された原料の裏付けが是非共必要です。
これ等の点で日新十字商標印医薬品がどんな生ひ立ちを持つてゐるかを簡単にお話しましよう。
四国の住友別子銅山の銅の製錬に関連して始つた弊社の事業は空中窒素固定、石炭乾溜等近代化学工業の粋を集めて硫安肥料は国内第一の生産をあげその外硝酸メタノール、尿素等の合成を始めペンゾール、トルオールの製造を行つてゐます
一方これ等を原料として高級染料の合成を行ひ戦前は世界各国市場に進出し、戦後も業界のトップを切つて東亞市場へ輸出されてゐます。
技術を学ばれてゐる皆様には合成染料と合成医薬が技術的、原料的にどんなに密接な関係があるかはよくお判りでしよう
日新の医薬品はこの様な有機無機合成化学の豊富な経驗と卓越した技術、一貫作業による精選された原料を基礎とし、これに加ふるに充実した研究陣の日夜研讃の結晶として皆様の前に提供されて居りますので充分な御信頼をかち得ることを信じております。
日新化學工業株式會社
(旧住友化学)
大阪市東区北浜五丁目二二
東京都中央区日本橋本町二丁目六
本社
工場
支社
医薬部門 大阪、新居浜
染料部門 大阪、岡山、鳴崎
肥料部門 新居浜、和歌山
アルミ部門 新居浜

18日→24日 鐵のカーテン
25日→31日 密輸空路
18→24日 眞珠
25日→31日 ギルダ 問題の女性リタ・ヘイワーズ
池袋西口
池袋☆ロサ 池袋☆邦映

秋の欧州映画祭
18日ヨリ―24日迄
地中海
25日ヨリ―31日迄
洋畫フアンの話題獨占
衝撃・昂奮・感激の嵐!
戦火のかなた
監督ロベルト・ロッセリイニ
本年度のベストワン
池袋 ユトアール 西口

祝・立教大學創立七五周年・森永創業五十周年・祝
創立50年を迎えて
森永の菓子と乳製品
REGISTERED TRADE MARK
キヤラメル・ビスケツト・ドロツプス・キヤンデー
紅茶・霜降ソース・トマトケチヤツプ・合成酒
ドライミルク・ミルク(煉乳)・牛乳・バター
滋養補ナトリメン・マルツエキス・ペニシリン
社名が元通りになりました 旧商・森永食糧工業株式會社
資本金壹億圓
森永製菓株式會社
東京都港区芝田町1丁目13番地
資本金七千萬圓
森永乳業株式會社
資本金壹千萬圓
森永商事株式會社
森永薬品株式會社